Umbrella Company

The Fader Control 取扱説明書 Rev.B 09.2015

このたびは Umbrella Company / The Fader Control をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品を正しくご使用いただくために、ご使用前に本取扱い説明書をよくお読みください。

電源について

付属の 24V 電源アダプターを接続します（付属の電源アダプター以外は接続しないでください）。背面のトグル・スイッチで電源を ON/OFF します。

オペレーションモードについて

The Fader Control は２つのオペレーション・モード（Output Mode と Input Mode）によって、各端子やコントロールの機能が切り替わります。以降のモードごとの説明をご参照ください。

Output / Input Mode の切替方法

■Output Mode に設定する

1、一度本体の電源を OFF にしてください
2、操作部の一番下のボタン（MONO-ST /OUT SEL）を押しながら電源を入れます (電源を入れた後も５秒ほどボタンを押し続けてください)。
3、ボタンの青色 LED が下から上へ流れるように動きます。これで設定は完了です

■Input Mode に設定する

1、一度本体の電源を OFF にしてください
2、操作部の一番上のボタン（F.KEY/REF）を押しながら電源を入れます
3、ボタンの LED が上から下へ流れるように動きます。これで設定は完了です

起動時にボタンの LED が上から下（または下から上）へと動くことで、現在どちらのモードになっているかを確認することができます。また次回起動時には終了時のモードで起動します。



Output Mode 時の各種機能の説明

DAW システムのモニター・コントローラーとしてお使いいただける機能をセレクトしています。
起動時にボタンの LED が下から上へ流れ Output Mode であることを示します。

■背面部

・INPUT A/B

L/R の入力端子、XLR バランス入力です。オーディオ・インターフェイス出力などのラインレベル信号を入力します。INPUT A は L チャンネル、INPUT B は R チャンネルの入力となります。

・OUTPUT A/B

L/R の出力端子、XLR バランス出力です。パワーアンプまたは、パワードスピーカーに接続します。OUTPUT A は L チャンネル、OUTPUT B は R チャンネルの出力となります。

■コントロール部 (アウトプットモード時)

・フェーダー

音量調整を行うスライドフェーダーです。0dB スケールで動作します。

・REF(リファレンス・レベル)

フェーダーがどの位置にあっても予め設定したリファレンス・レベルを呼び出し、ボタンの表示 LED が点灯します。もう一度ボタンを押すとフェーダー位置の音量に戻ります。

このボタンの長押しでリファレン・スレベルを設定できます。

1、長押しでキャリブレーション・モードに入ります (表示 LED は点滅)
(再度ボタンを押すと通常モードに戻ります）
2、フェーダー位置で希望のリファレンス・レベルを決定します。
3、再度このボタンを長押ししてキャリブレーション・モードを終了。同時に設定が保存されます。

・Dim(ディマー)

このボタンを押すと Dim が機能し、現在のフェーダー位置の音量から、設定した Dim 量分をアッテネートします。この時ボタンの表示 LED が点灯します。もう一度押すと解除します。

このボタンの長押しで Dim 量の設定が可能です。操作方法はリファレンス・レベルの設定と同様です。Dim 量を -20dB に設定したい場合は現在の位置から -20dB 下げて、(再度ボタンを長押しして）キャリブレーション・モードを終了し設定を保存します。(ボタンを押すと設定をキャンセルし通常モードに戻ります。長押しで設定を保存できます。)

・Mute (ミュート)

押すたびに Mute/ 解除が切り替わります。
Mute ボタンにはキャリブレーション機能はありません。

・OUT SEL(アウトプットセレクト)

背面パネルの音声出力へ出力する LINE と、本機前面のヘッドホン端子へ出力する HP を切り替えます。OUT SEL ボタンを押すごとに、LINE と HP が切り替わります。

LINE セレクト時にはフェーダーで音量調整を行います。またヘッドホン出力はミュートされます。

HP セレクト時には､｢HP VOL モード｣と｢FADER+HP VOL モード｣の２タイプの音量調整モードを選択できます。

● HP VOL モード = フェーダーの位置に関係なく、ヘッドホンの音量を HP VOL ノブだけで調整します。

● FADER + HP VOL モード = フェーダーと HP VOL の両コントロールで､ヘッドホン出力の音量を決定します。LINE/HP 間の音量バランスを調整したい場合や、フェーダーでヘッドホン出力の音量調整を行いたい場合などに利用できます。

「HP VOL モード」と「FADER+HP VOL モード」を切り替えるには、OUT SEL ボタンを長押ししてキャリブレーション・モードに入ります（長押しした指を離すと HP、LINE、OUT SEL の 3 つの LED が点滅します）。OUT SEL を押すたびに、LED の点滅アクションが変化し、現在のモード状態を示します。

● HP VOL モード = LED の点滅アクションが LINE と HP を往復するパターンの時には「HP VOL モード」です。この状態で OUT SEL ボタンを再度長押しすると「HP VOL モード」が選択され、キャリブレーション・モードを終了します。設定は電源を切っても保存され、再電源投入時にも再現されます。

● FADER + HP VOL モード = LED の点滅アクションが LINE+HP と OUT SEL を往復するパターンの時には「FADER + HP VOL モード」です。この状態で OUT SEL ボタンを再度長押しすると「FADER + HP VOL モード」が選択され、キャリブレーションモードを終了します。設定は電源を切っても保存され、再電源投入時にも再現されます。

■ 前面パネル

・ヘッドホン出力端子

LINE/HP で LINE を選択している場合は自動的にミュートになります。

・ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの音量を調節します。音量調整モードにより調整方法が異なります (* 上記 OUT SEL の項目を参照ください)。

Input Mode 時の各種機能の説明

マイクプリアンプからの信号やラインレベルの信号を入力し、録音時のレベリングに最適な機能構成となっております。オペレーションタイプ（モノラル / ステレオ）を選択可能です。起動時にボタンの LED が上から下へ流れ INPUT MODE であることを示します。

*INPUT/OUTPUT モード切替については前項の「Output Mode / Input Mode の切り替え方法」をご参照ください。

■背面部

・INPUT A/B

ラインレベルの信号を入力します。オペレーションタイプにより役割が変わります（* 後記する MONO/STEREO 切替えの項をご参照ください)。

オペレーションタイプ「Mono」では
INPUT A に入力します。INPUT B は無効です。

オペレーションタイプ「Stereo」では
INPUT A は L チャンネル、INPUT B は R チャンネルの入力となります。

・OUTPUT A/B

ラインレベルの信号を出力します。オペレーションタイプにより役割が変わります。

オペレーションタイプ「Mono」では
OUTPUT A は Variable Output(可変レベル)、OUTPUT B は Fixed Output（固定レベル）となります。

オペレーションタイプ「Stereo」では
Variable Output L/R(可変レベル) となります。

■ コントロール部（インプットモード時）

・F.KEY(ファンクションキー)
/ ユニティーレベル・インジケーター

誤操作防止のため、他のボタンの機能を許可するボタンです。
録音作業中のフェーダー操作時に誤って MUTE や SCALE などのボタンを押しても機能しないように、Input Mode 時には、F.KEY ボタンと同時に各ボタンを押さないと機能が有効にならないよう設計されています。

また、ユニティーレベル・インジケーターとしても機能します。フェーダーがユニティーレベル位置にある時にこのボタンの LED が点灯します。この機能を無効にする事も可能です。(* 次項 Scale の項目をご参照ください)

・Scale(スケール)

フェーダーの両側に音量スケールの表記があります。F.KEY ボタンを押しながら SCALE ボタンを押すと、このスケールを切り替えます。フェーダー両側のスケール表記の一番上にある LED が点灯し、現在選択されている音量スケールを示します。

＋10dB　設定時はフェーダーの左側に表記されたスケールでの動作となります。
0dB 設定時はフェーダーの右側に表記されたスケールでの動作となります。

また、SCALE ボタンを長押しする事で、ユニティレベル・インジケーターの有効 / 無効を切り替えすることが可能です。

・Mute(ミュート)

Output Mode の MUTE と同様です。F.KEY を押しながら MUTE ボタンを押すと出力がミュートされます。ただし、オペレーションタイプ「MONO」選択時の固定レベル信号（OUTPUT B）の出力は MUTE されない設計となっています（OUTPUT A は MUTE されます)。

・Mono/Stereo(モノラル / ステレオ) 切替

F.KEY を押しながら MONO/ST を押してオペレーションタイプを切り替えできます。

オペレーションタイプ「MONO」では INPUT A に入力された信号は内部で分岐され、フェーダーで制御可能な可変レベル出力を OUTPUT A に、固定レベル信号を OUTPUT B に出力します。録音時のバックアップや CUE ボックスへの返しなどにご利用いただけます。

オペレーションタイプ「STEREO」では、フェーダーで制御可能な可変レベル出力を OUTPUT A と B に出力します。

オペレーションタイプ Mono では Mono/Stereo ボタンの LED が点灯します
オペレーションタイプ Stereo では LINE LED と HP LED の両方が点灯します。

■前面部

・ヘッドホン出力端子

INPUT MODE では機能しません。

・ヘッドホンボリューム

INPUT MODE では機能しません。



MONO モニター・モード

Output モードで INPUT A に入力したモノラル信号を、LINE/HP 出力の L/R 両側に出力できます。機材の検聴時などにご利用いただくと便利です。「MONO モニターモード」に設定するには、一度電源をオフにし、DIM と MUTE ボタンの両方を押しながら電源をオンにしてください。MONO モニターモードを終了するには電源をオフにするだけです。再度オンにすると本機は通常の Output モードで立ちあがり、MONO モニターモードは終了されます。

株式会社アンブレラカンパニー
www.umbrella-company.jp TEL 042(519)6855